

2024年度 東海大学大学院 第3回 家族看護研究会

東海大学大学院家族看護学研究室では、
家族看護を様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は、家族看護の基本となる『システム論』を用いて分析し、
事例に適したアプローチ方法を検討します。

患者は糖尿病の合併症により全盲、下肢壊疽、透析を受けているAさん
50歳代男性。病状の回復が見込めない状況を知り、透析の継続を拒ん
でいる。一方、同居している弟は、治療継続を望み患者と意見が異なり、
現場の看護師は対応に困っている。Aさん家族には弟のほか、現在高齢
の母もおり、現在予後数ヶ月の状況で施設に入居中である。
Aさんとその家族にどのように支援すれば良いのか、家族の生活史を踏ま
えながら考えます。



プロフィール：児玉久仁子（家族支援専門看護師/博士(医学)）
東京慈恵会医科大学卒業。2010年家族支援専門看護師資格を取得。
現在は、医療法人有隣会わかさ病院で相談員を務めつつ、東海大学医学
部看護学科客員研究員として従事。

【日時】2024年11月16日(土)

【時間】14:00～17:00

【方法】対面での開催

【会場】東海大学伊勢原キャンパス 3号館

※参加ご希望の方は当日会場へお越しください。事前申し込みは不要です。

問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（櫻井・小泉）

ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：dsakurai@tokai.ac.jp

電話：0463-93-1121（代表）

